

# 大震災教訓に防災考えよう

## 豊橋・さくらピア 追悼、復興祈念 石野氏招いて出前講座

### 避難訓練なども

東日本大震災発生から11年。豊橋市障害者福祉社会館「さくらピア」で11日、追悼、復興祈念の行事「さくらピア 3・11を忘れない集い」があった。館利用者ら21人が防災講話を聞いた。

【田中博子】



東北支援バザーや防災頭巾作り、映画上映などで被災地を思うとともに当地の防災を考えようと、毎年異なるテーマで開く。今回は出前講座を企画、新型コロナウイルス感染予防で人数制限をして実施した。

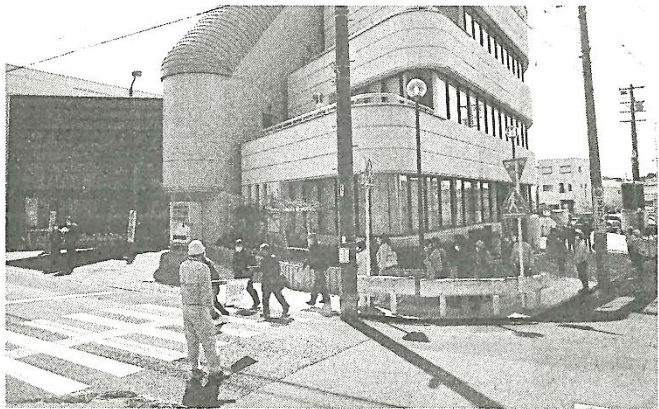
全員で被災者へ黙とうをささげた後、指定管理者の豊橋障害者（児）団体連合協議会から山下徹会長があいさつ。市防災危機管理課啓発グループの石野喜崇主査が「今すぐ防災―災害まったなし」と題して話した。

石野主査による防災講話  
「いずれもさくらピアで

石野主査は東日本大震災被災地などへの派遣経験を語りながら、近年の国内の災害発生状況や特徴、豊橋市民が警戒すべき南海トラフ地震などについて説明した。

避難所の運営や問題点も紹介し、今後の課題として避難所要

員への実践的な訓練や自主防災組織の意識向上、避難所の啓発を挙げた。「まずは自分や家族のみを守ること」「避難場所の確認」「隣近所での協力体制を」の3点が重要。ぜひ、今できることを



公園に避難する利用者ら

やって」と呼びかけた。同館職員による救急手ぬぐいを使った「応急手当ワンポイントレッスン」もあったほか、閉会後は参加者を含む全館利用者らと職員約50人による避難訓練を実施。各自が避難経路を確認しな

から建物前の桜ヶ丘公園に移動した。